

令和3年度 事業報告

1. 事業概要

令和3年度は、設立30周年の節目であったことから、これを記念して定時総会での記念講演、記念誌の発行、また普及啓発を兼ねた済生会病院での除草ボランティア活動や1月以降の新規入会者の入会費無料キャンペーンに取り組んだ。

一方、新型コロナウイルスが発生してから丸2年が経過したが、同ウイルスは次々と変異を続け、年明けからはオミクロン株による感染が急速に拡大し、未だ収束が見通せない。本市では観光客が激減し、各種イベントも中止が続く中、市の基幹産業である水産業の漁獲量も減少したことにより、市内の経済状況は厳しい状態が続いていることから、当センターの運営もその影響を受けた。

全国的には、会員数は減少傾向が続いているものの契約金額は回復傾向にある。当センターでは令和の時代に入り会員数・契約金額とも2年続けて増加し、明るい兆しも見え始めていたが、令和3年度は一転して会員数・契約金額とも減少し、第2次中期基本計画（令和3年度～令和7年度）の初年度から厳しいスタートとなった。

会員数の拡大については、通常の見込みに加え、鳥取県シルバー人材センター連合会と連携して勧誘に努めた。また、新たにマスコミを活用した広報を行ったほか、1月からは入会費無料キャンペーンに取り組んだ。

しかしながら、年金の段階的引き上げに伴う定年延長や再雇用制度の影響が大きく、60歳代の会員の確保は容易ではない上、粗入会率（センターの会員数÷本市の60歳以上の人口）は年代別、男女別とも全国平均を大きく下回っており、会員数は過去最低であった平成30年度と並ぶ169人となった。

契約金額については、大口事業所の契約金額が大幅に減少したほか、外仕事の繁忙期である夏場の記録的な大雨、年末から年始にかけては草木の処分場の約1ヶ月間閉鎖、1月下旬には市内に新型コロナの市中感染急拡大特別警報に伴う外出自粛の要請など様々な要因が重なり、当センターの三大受託事業である除草、剪定、襖・障子・網戸の張り替えの受注はいずれも減少し、受注件数全体は前年度より6.7%減の1865件、契約金額は前年度より11.5%減の56,218千円となった。

派遣事業については、年度当初は順調に推移していたが、7月以降は契約期間の終了や新型コロナによる影響を受けたが、年末年始にかけては人出不足分野から新たな依頼があり、全体として受注件数は前年度より14%増の16件、契約金額は前年度より4.4%減の6,959千円となった。

その他、鳥取県の最低賃金引き上げに伴い配分金額との差が拡大したことから、2月から配分金額を引き上げるとともに、新たに襖・障子・網戸の張り替えに配送料を設定した。また、令和5年10月からスタートする消費税のインボイス制度への対応方針を理事会等で協議した。

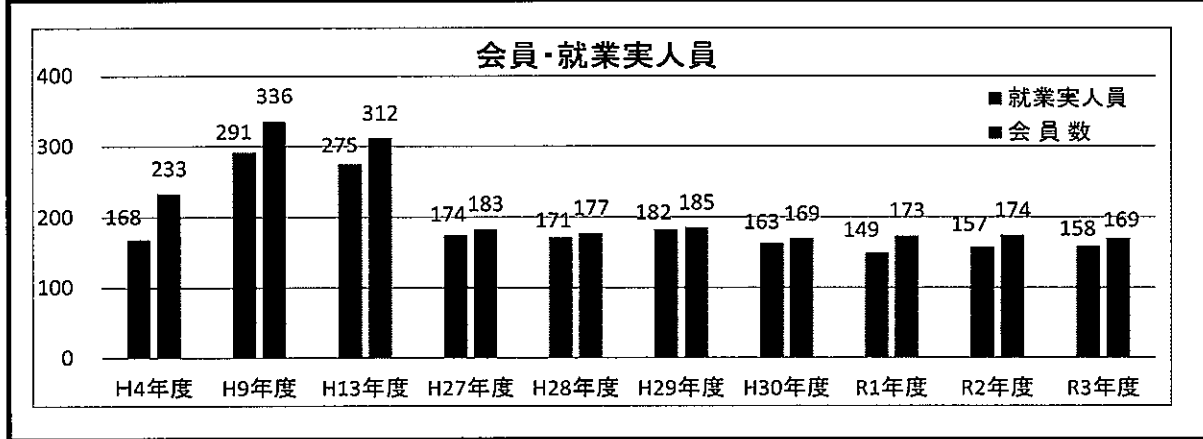
以下、令和3年度の事業実施状況を項目ごとに報告する。

2. 事業実施状況

(1) 事業実績の推移

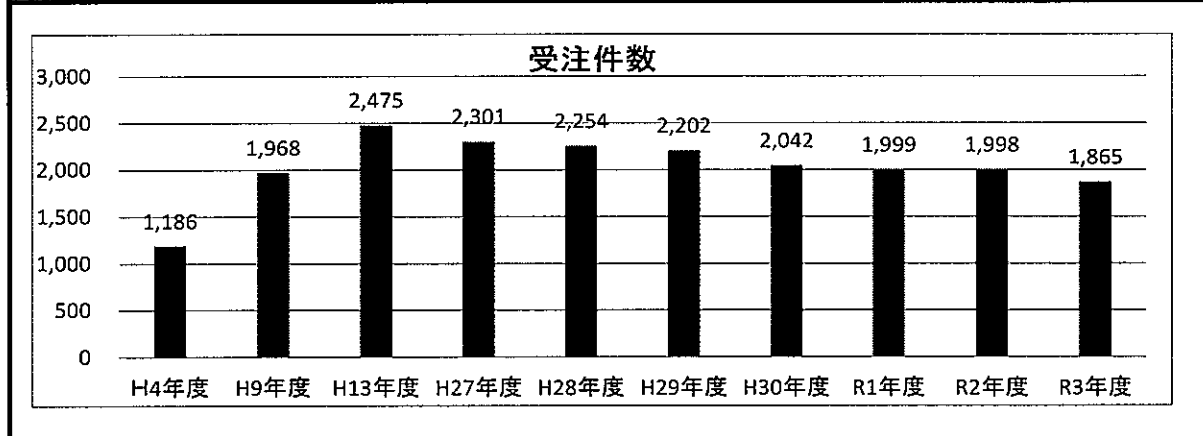
(単位：人)

	H4年度	H9年度	H13年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
会員数	233	336	312	183	177	185	169	173	174	169
就業実人員	168	291	275	174	171	182	163	149	157	158



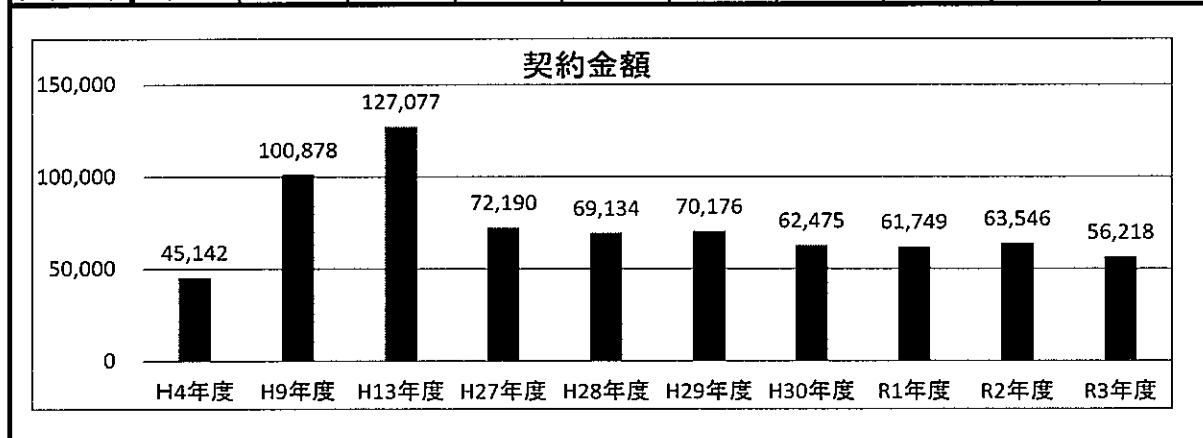
(単位：件)

	H4年度	H9年度	H13年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
受注件数	1,186	1,968	2,475	2,301	2,254	2,202	2,042	1,999	1,998	1,865



(単位：千円)

	H4年度	H9年度	H13年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
契約金額	45,142	100,878	127,077	72,190	69,134	70,176	62,475	61,749	63,546	56,218



(2) 会員数の拡大

当センターの最重要課題と位置づけ、鳥取県シルバー人材センター連合会と連携して会員拡大に取り組んだほか、設立30周年記念として1月から3月までの入会者に対して当該年度の入会費を無料とするキャンペーンを行った。

また、毎年実施している普及啓発活動は新型コロナウイルス感染防止のため前年度に引き続き実施できなかったが、中海テレビでの放送や日本海新聞に写真を掲載するなどしてPRした。

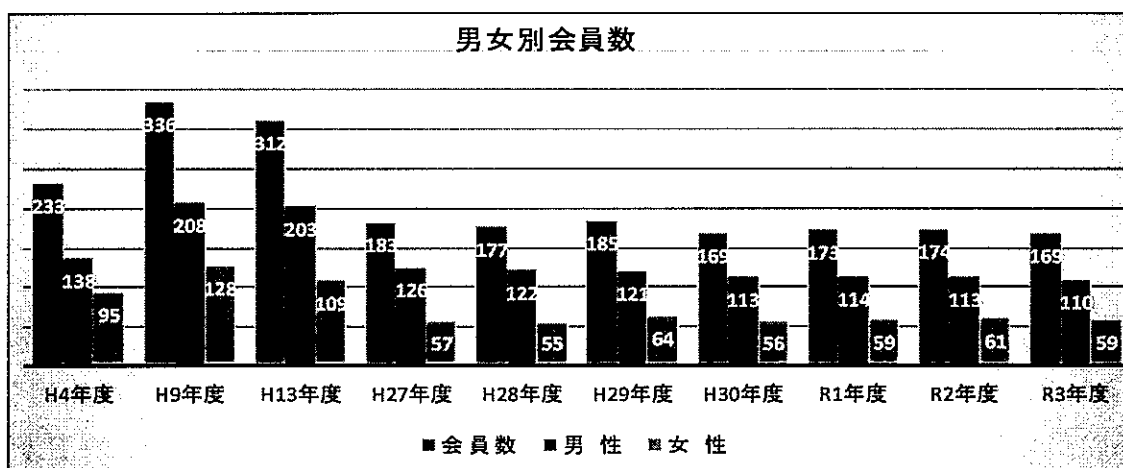
【主な取り組み】

- 市内公民館、社会福祉協議会等にポスター掲示（4月）
- 草刈技能講習＜連合会と共同事業＞（5月）
- 剪定技能講習＜連合会と共同事業＞（6月）
- ハウスクリーニング講習＜連合会と共同事業＞（7月）
- 整理・収納基礎講習＜連合会と共同事業＞（9月）
- 介護補助講習＜連合会と共同事業＞（10月）
- 調理補助スタッフ講習＜連合会と共同事業＞（10月）
- 中海テレビによる放映＜ボランティア活動、襖・障子・網戸張替作業＞（10月、11月）
- 日本海新聞にボランティア活動写真を掲載し入会者を募集（12月）
- 設立30周年記念入会費無料キャンペーンを実施（1月～3月）
- 市報に会員募集チラシの折り込み（1月）
- 新聞各紙に会員募集チラシの折り込み（2月、3月）

<会員数の推移>

(単位:人)

	H4年度	H9年度	H13年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
会員数	233	336	312	183	177	185	169	173	174	169
男性	138	208	203	126	122	121	113	114	113	110
女性	95	128	109	57	55	64	56	59	61	59



(3) 就業機会の拡大

会員の就業機会を確保するため、市報にチラシを折り込んだほか、中海テレビや日本海新聞で当センターを紹介するとともに、官公庁や事業所を訪問し、就業機会の継続・拡大を要望した。また、鳥取県シルバー人材センター連合会と連携して新聞折込みや商工会議所ニュースにシルバー人材センターを紹介する記事を掲載した。年末年始から年度末にかけて人手不足分野の業務を受注した。

(主な新規事業)

- 水産品梱包等業務
- 酒造製造所内作業補助

【主な取り組み】

- 市報、新聞への折り込み<連合会と共同事業> (随時)
- 市内公民館、社会福祉協議会等にポスター掲示 (4月)
- 商工会議所ニュースに広告 (7月、1月)
- 官公庁、事業所訪問 (10月)
- テレビ放映、新聞掲載 (10月、11月、12月)
- 窓掃除講習会の実施 (3月)

(4) 安全・適正就業の徹底

安全就業について、これまでの取り組みに加え、熱中症対策として事務所に熱中症警戒アラート等の情報を表示したほか、配分金明細書に一口メモを掲載し、注意喚起を行った。

飛石事故対策として、刈払い作業で石が飛びにくい刃に切り替えるなど安全対策に取り組み、賠償事故件数(保険対象外を含む。)は前年度より大幅に減少したが2件発生した。また、傷害事故(ハチ刺され)は3件発生した。

新型コロナ対策として、事務所に出入りする人の検温やマスク着用、手指消毒を徹底した。

【主な取り組み】

- 飛石対策として刈払い機の刃を石が飛びにくい刃に変更 (4月)
- 安全・適正就業推進委員会を開催 (6月)
- 熱中症警戒情報を事務所玄関、窓口に掲示して注意喚起 (6月～9月)
- 安全・適正就業推進委員長、事務局職員、連合会の安全・適正就業指導員による安全パトロールを実施 (7月、11月)
- 年末の交通安全運動一口メモ (12月)
- 新型コロナウイルス感染予防・拡大防止の徹底 (通年)

< 傷害事故の発生状況 >

業 種	事故発生日	状 況	保険金給付額
除 草	R3.06.16	ハチ刺され	2,000 円
除 草	R3.08.02	ハチ刺され	2,000 円
除 草	R3.08.03	ハチ刺され	2,000 円

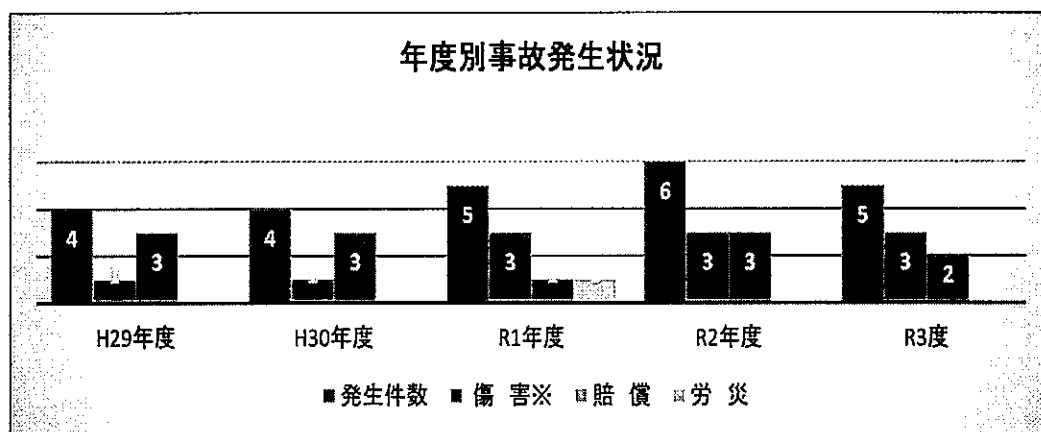
< 賠償事故の発生状況 >

業 種	事故発生日	状 況	保険金給付額
刈払い	R3.07.16	飛石で車の窓ガラスの破損とボディにキズ	201,707 円
刈払い	R3.10.27	飛石で車の窓ガラスの破損とボディにキズ	302,005 円

< 年度別事故件数の推移 >

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3度
発生件数	4	4	5	6	5
傷 害※	1	1	3	3	3
賠 償	3	3	1	3	2
労 災			1		

※熱中症を含む。



(5) 持続可能な組織運営・財政基盤の確立

増加し続ける経常経費の財源を確保するため、配分金額改定による受取事務費の増額を図った。また、支払金額が5万円以上の支出については、2社以上から見積りを徴取して決定することとした。

賠償金額の増加によりセンターの追加負担額が多くなっていた傷害・賠償保険の掛金を抑えるため契約先・契約内容を見直すなど、経費の節減に努めた。

【主な取り組み】

- 支払金額が5万円以上のものは2者以上から見積書を徴取して決定（4月）
- 配分金額改定に伴う受取事務費の増収（2月）
- 傷害・賠償保険契約先・契約内容の見直し（3月）

(6) 地域貢献活動

設立30周年記念事業の一環として、日頃からお世話になっている済生会病院の皆様へ感謝の意を込めて除草ボランティア活動を行った。

また、全国シルバー事業協会が取り組む資源の有効活用による環境負荷の軽減等を目的とするユニクロ製ダウンウェア回収事業に協力して取り組んだ。

【主な取り組み】

- ユニクロ製ダウンウェアの回収（4月）
- 済生会病院での除草作業（10月）